

令和6年3月26日 移動村長室

第3枠 村内在住 女性

出席者：村長、子育て支援係長

子どもの居場所づくりについて

地域づくり支援金を4月から活用予定だが、子どもの居場所づくりの補助金は評判も良く、村のアピールにもなる。利用者無料で運営していくには村の補助金が欲しい。なんとか補助金を復活できないか。また、予算（上限額）も増やして欲しい。

村長の回答

現状として財源が厳しいが、できる限りご要望にお応えしたい。

また、民間との協同による財源確保も考えている。村でできることとしては、居場所の提供等を行っていく。

子育て支援係長の回答（補足）

補助金については合致するメニューをうまく活用して頂き、その間に利用者負担金等も検討して運用できるようにすることで長く続けられると考える。ただし、補助金を頼りにずっと利用者無料というのは難しい。

フリースクールについて

フリースクールを4月から立ち上げる予定だが、ボランティアでは継続性がない。NPO法人化し、将来は自身の教員免許を生かして不登校児向けの学校を作りたい。

村長の回答

地域づくり支援金や元気づくり等の支援金を活用して進めてはどうだろうか。

また、民間での繋がりも良いと考える。

子育てサロンについて

子育てサロン保育士の常駐は必要か。都会の同じよう施設では、受付に人がいるくらいで自由に遊ぶことができるため、村のサロンには違和感がある。また、保育士が他人のプライベートな内容を話しているのが気になる。

村長の回答

同じような感想を持っており、茅野市の0123広場を選んでいる方もいる。
しかし、現在の子育てサロンのやり方が良くて利用している方もいる。

子育て支援係長の回答

小さな村なので、複数のサロンを開設することは困難。そのため茅野市や富士見町の施設と差別化することで選択肢が生まれている。また、村の子育てサロンは小さな空間で親子で遊ぶこと、多子の保護者が保育士がいることで上のお子さんとゆっくり向き合えること、子育ての相談や保育士のお子さんへの接し方を参考にして頂いたりといったことが良いと思って参加されている方もいる。

保育士のプライベートな内容に触れる話については、頂いたご意見の内容を共有している。